

v 総合計画審議会委員からの合併検証に関する意見等

合併検証は、第2次総合計画後期基本計画の策定につなげるという目的があることから、素案資料を総合計画審議会の委員各位に提示し、検証の視点や方向性、表現等について意見を伺いました。短期間での意見集約となりましたが、11人の委員より意見等を提出いただきました。いただいた意見等の内容とその対応状況等については、図表26のとおりです。

【図表26】総合計画審議会委員からいただいた意見等の内容とその対応状況等

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
少子高齢化の顕著な状況に対して	人口減少と人口対策は市としての根幹に関わる大きな課題であり、この視点について具体的に表現すべき 例えば、交流人口対策、定住人口対策（企業誘致）等の諸施策の検証も必要です。一部そのような記載もありますが、さらに突っ込んだ分析と表現がほしい。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたように、人口対策は市の根幹に関わる大きな課題であり、奥州市人口ビジョン（平成28年3月）における分析をもとに、奥州市まち・ひと・しごと創成総合戦略（平成28年3月）において、人口に関わる目標を定め、各種施策を進めております。 また、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画や、各種施策の推進に当たり、さらに踏み込んだ分析をし、実効性のある取組を進めてまいります。
適正な行財政運営について	一時は100億円を超えていた財政調整基金が、このまま推移すると30億円を割り込む見込みであり、大変厳しく大きな課題である旨の説明があった。 その要因などについても、検証項目に入れてはどうか。	ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証において、各種基金残高の推移について整理しておりますが、基金残高の増減については、国の政策による交付税の減額などさまざまな要因があり、近年は取崩しが続き減少傾向となっております。 ご指摘いただきましたように、今後の市政運営において、財政調整基金の取り崩しが続く状況は大きな課題であり、この要因や対応策等について、別途財政健全化に向けた取組（令和2年6月）において、現状や将来推計を整理し、改善のための施策の方向性を明確化し、実行しているところです。 財政の健全化は、今回実施した合併検証において、最重要課題のひとつと位置づけております。現在策定を進めております市総合計画後期基本計画では、それを踏まえて実効性のある取組を進めることとしております。

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
適正な行財政運営について	大袋地区のソーラー施設誘致、胆沢中学校敷地内からの廃棄物、前沢地区の給食センター建設地見直し等による財政出動などについて、「好ましくない事例」として検証し、このようなことが二度とない行政運営に結び付けることが大切ではないか。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。</p> <p>今回の合併検証においては、個別具体の施策の検証には至っておりませんが、市がこれまで実施してきた各種施策や事業については、行政評価を実施し、改善を図りながら、効率的かつ効果的な事業運営に努力しております。</p> <p>ご指摘いただきましたように、行政運営において市民への影響や損失が生じないよう着実に実行していく必要があります。</p> <p>市では、毎月「リスクマネジメント会議」を開催し、全庁的に課題を共有して、適切な事務処理等を行うよう取り組んでおります。</p>
協働のまちづくりについて	「地域の個性輝く協働のまちづくり」について、総括と検証が必要ではないか。奥州市が目指す独自の「協働の理念」をさらに発展させるためにも検証項目に入れるべきと考える。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>前述のとおり、今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。</p> <p>合併以降のまちづくりの状況については、第4章 住民自治の推進と官民連携によるまちづくりにおいて検証し、第9章 検証のまとめにおいて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理しているところです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、市総合計画の策定や、市協働のまちづくり指針（令和3年3月改訂）に基づく各種施策の実施など、今後の市政運営に活かしてまいります。</p>
検証のまとめについて	合併検証の視点が新市建設計画の5項目を核としているが、合併時の状況との比較の検証なのか、新市建設計画に盛り込まれている内容の検証なのか、混載されているため分かりにくい。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>前段の各種検証については、人口や産業など本市の概況、行財政基盤や行政サービスの内容、合併調整事項、協働によるまちづくりや新市建設計画等など、合併前又は合併時と現在を比較し、合併以降の15年間にどのような変化があったかを整理しています。</p> <p>これらは、住民生活にも大きく影響する内容と思われるので、多くの紙面を割いて掲載しております。そのうえで、みえた課題を「5つの視点」で整理しております。</p> <p>ご指摘の内容を踏まえて、分かりやすい表現に努めます。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
アンケートについて	アンケート調査の結果を活用しているが、アンケートが、合併検証のための調査なのか、市民満足度の確認やまちづくりのための調査なのか分かりにくい。検証の主体がアンケートにあるのかどこにあるのかも分かりにくい。	ご意見ありがとうございます。 合併検証の参考としたアンケートは、総合計画の策定の際などに定期的実施しているものに、合併検証に関する項目を追加し市民の意向を確認したものです。 合併に対する市民の「良くなった」「悪くなった」という感覚と、合併後15年の住民ニーズの推移などを踏まえ、合併後に改善されたものを浮き彫りにしたうえで、なお改善に至らない課題を整理しました。 それらの説明を含めて、分かりやすい内容となるよう調整させていただきます。
検証の手法について	検証した結果こうよくなった、こういう課題があるというところまで踏み込んだ表記が必要ではないか。 検証と課題は別であり、検証して改善されている、課題として明確になったというのは、検証結果における評価であり、この評価をどの主体が行うかによって変わってくる。 このまとめでは、調査と事務現場の評価が混在していると感じた。	ご意見ありがとうございます。 合併検証では、各種統計データや市民アンケート結果をもとに、合併以来本市が進めてきた施策等について、総合的・客観的に合併後の15年間に改善された市民サービスと課題を検証しております。 ご指摘のとおり評価や検証の主体が変わることで、その結果にも影響が生じるものであり、本編の「おわりに」で触れているとおり、今回の検証により全ての分析ができていくわけではなく、今後も引き続きいろいろな立場の方々の意見を取り入れながらまちづくりを進めていくものです。 今後ともご助言ご協力よろしくお願いたします。
資料編 合併協定項目の記載について	合併協定項目の調整状況について、協定項目の結果を示しているものであり、協定項目を調整している状況を示しているものではないと感じた。	ご意見ありがとうございます。 資料編は、本編を補足するためのデータ等を整理したものです。 合併協定項目については、合併後の市政運営の基盤づくりや方向性を示すための調整事項であり、その項目を明示するとともに、実際にどのような調整がなされたかについて、検証を進めるうえでの参考として資料編に記載しております。
検証の手法と活用について	総合計画策定を前提とする合併検証であれば、本当に必要な検証であるか、あるいは現状分析を丁寧に行い未来への在り方の議論を加速させるような内容にするか、検証の目的にも関わることとなるが、その用途によって内容が変わると感じた。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただいたように、今回の合併検証は、総合計画策定を前提としつつも、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料と位置付けております。 市民に広く活用される資料となるよう、内容の周知に努めます。

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>検証結果の活用について</p>	<p>合併から15年「検証のまとめ」を見ましても、その都度のニーズに答え、財源を守ってきたのだと感じますが、市民には伝わっていないように思います。</p> <p>合併は、少子高齢社会への対応等、多くの目的で実施されたのに、今なお、少子高齢化に悩み、更にひどくなっています。</p> <p>中央ばかりに目を向けず、中山間地域の良さも引き出して行ってほしいものです。</p> <p>アンケートに答えていただいた半数以上の方が「暮らしやすい」と答えています。</p> <p>残りの半数の方も暮らしやすいと答えてもらえるよう、アンケートを参考に合併時の目的を果たせるよう次世代に繋げるよう活かしていかなければなりません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のように、人口減少、少子高齢化は全国的な課題となっております。特に中山間地域においては、人口減少や少子高齢化が進み、この状況は、地域コミュニティの縮小、地域活動停滞につながるものです。</p> <p>市内各地域においてこれまで培ってきた歴史や文化があり、それらを尊重しながら、総合計画に掲げているめざすべき都市像「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち 奥州市」の実現に向け取り組んでおります。</p> <p>なお、アンケートの結果は、各種計画の策定や施策の具体化に向け活かしてまいります。</p> <p>加えて、合併検証の結果をまちづくりの議論に活かすため、市民への周知に努めてまいります。</p>
<p>検証の手法と活用について</p>	<p>せっかく、市町村合併の効果や課題を検証するのであれば、数値等の比較、アンケート等による一般的な感覚の集約等にとどまらず、課題として挙げられた事項等について、その要因・原因も明らかにしてほしい、そこから必要な対応策等を検討し、次に活かしていただきたいというのが率直な思いではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、また、市民アンケートにより市民の皆様の市政に対する考えを伺い、それらをもとに、合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画に反映し、今後の市政運営に活かしてまいります。</p> <p>ご指摘いただきました課題等の要因や原因の整理、対応策の検討につきましては、市総合計画や各部門別計画において具体的な施策の展開に活用できるよう進めさせていただきます。</p>
<p>検証の手法について</p>	<p>報告書案の資料編においては、歳入、歳出の乖離額が示され、その要因も記載されておりますが、「IX 検証のまとめ」においても、同様に、なぜそういう結果になったか、原因・要因として考えられることを主なものでも明らかにするという視点が重要であり、有用な検証につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するためのものです。</p> <p>ご指摘いただきました課題等の要因や原因の整理、対応策の検討につきましては、市総合計画や各部門別計画において具体的な施策の展開に活用できるよう進めさせていただきます。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>検証の手法と活用について</p>	<p>「IX 検証のまとめ」において、「合併の必要性」として5つの項目を掲げ、それぞれについて、「対応と経過」と「合併後の効果」、「課題」がまとめられ、合併以降の現在までのいろいろな項目の実施状況が明らかになっており、非常に良いと思いますが、さらに、市民アンケートの集計結果から得られる市民の意見とあわせて、課題の中には目標に達しなかったものも含まれていることから、その個々について、原因・要因を明らかにすることも、次につなげていくために、見直しの機会をとらえ、立ち止まって判断するうえで大変重要なことではないでしょうか。原因・要因を市民が共通理解できるような形で明らかにし、そのことについて、市民それぞれが考えることで今回の合併検証が次につながるための有用なものになるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するためのものです。 ご指摘いただきました課題等の要因や原因の整理、対応策の検討につきましては、市総合計画や各部門別計画において具体的な施策の展開に活用できるよう進めさせていただきます。 加えて、合併検証結果について、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料として、市民に広く活用されるよう、内容の周知に努めます。</p>
<p>検証の手法と活用について</p>	<p>合併にあたって、いろいろな項目について、目標や達成するための手段は具体的にあったはずで、これをこうやれば、ここをこう見直していけば、この部分は我慢していけば健全な行政運営を継続していくことが見通せるとの予測、判断のもとに実施してきたものであり、限られた期間内にすべてを検証し、結果をまとめることはかなり難しいことと思われませんが、せっかく取り組んだことでもあり、現時点での検証は、計画策定と並行しながらも継続し、将来に役立てることができる内容でまとめることが求められているのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。 いただいたご意見につきましては、総合計画策定や協働のまちづくり指針における施策の検証等により、今後の市政運営に活かしてまいります。 加えて、合併検証結果について、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料として、市民に広く活用されるよう、内容の周知に努めます。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>PI37 まちづくりの課題について</p>	<p>「自主自立の行政運営のために行財政改革の推進は必要不可欠です。一方で、新しい住民ニーズや社会の変化に応じた行政運営が可能となる組織作りが必要です。」と整理しているが、課題が多様化し、単独では解決策が見えない事案が増えていくことが今後想定される。</p> <p>提案型事業のための「協働の提案テーブル」だけでなく、必要に応じて関係各所が卓を囲んで話す「場」が整えられる常設の「協働の提案テーブル」が必要ではないかと思う。必要なのは「組織作り」ではなく「体制づくり」ではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり「協働」による自主自立のまちづくりを進めていくためには、行政だけでなく地域や住民の参画、連携が重要となります。ここでは、行政運営に係る記載をしていたところですが、ご意見をもとに次のとおり修正することといたします。</p> <p>・自主自立の行政運営のために行財政改革の推進は必要不可欠です。一方で、新しい住民ニーズや社会の変化に応じたまちづくりや行政運営が可能となるための体制づくりが必要です。(P66～P68)</p>
<p>PI40 検証のまとめについて</p>	<p>私たちが暮らす地域に魅力を感じ、可能性を見出していくためには、「関わりながらまちを育てていく」ことしかないのでは…と思う。〇〇だからできない…をここにあるもので、ここにいる人で、どれだけ楽しく置き換えられるか。課題…はうまくいけば、魅力に置き換えられる！そして、そんなチャレンジを見守り応援する本当の大人たちが増えてきたとき、のびのびやりたいことがこのまちでできる！と思う世代が、わたしたちのまちをつくり始めるのではないのでしょうか。</p> <p>これは、夢ではなく叶えたい将来の姿 そういう大人に、わたしもなりたい…</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、全ての市民が関わりながらまちづくり、地域づくりを進めていくことが重要です。</p> <p>市では、協働によるまちづくりを進めていくため、協働のまちづくり指針などを策定していますが、チャレンジを見守り応援する市民を増やし、多くの市民が主体的に参画するまちづくりが進むような体制づくりを進めていく必要があると考えています。</p>
<p>資料編 アンケートについて</p>	<p>今回の住民アンケートをどう読み解き、将来像をどう描くのか…はとても重要な気がする。</p> <p>課題として浮き彫りになっている事柄、「交通の便の悪さ」「医療・保健機関の不足」は、新たに制度が拡充された中山間の事業を活用してみたり、医療や介護が必要になる前の予防的楽しみの事業を地域で増やしてみたり…と「市」ですべてを解決ではなく、有益な情報をつなぐなどのやり方で解決へ向かうことができるのではないだろうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、市民アンケートにより浮き彫りとなった現状や課題等は、市だけで対処なり解決できるものではありません。</p> <p>まちづくりの中心は市民の皆さまです。</p> <p>市では、協働によるまちづくりを進めていくため、市総合計画、協働のまちづくり指針などを策定していますが、多くの市民の主体的な参画によるまちづくりが進むような体制づくりを進めていく必要があると考えています。</p> <p>アンケート結果や合併検証について、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料として、市民に広く活用されるよう、内容の周知に努めるとともに、各種計画の策定や施策の推進に活かしてまいります。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>(前ページの続き)</p>	<p>「歴史・文化が豊かで地域の個性がよく分かる」「市民活動が活発である」の数値が落ちていたり、もともと低かったりすること 重点的に取り組む目標のためには、我慢してもよいと思う項目として挙げられている</p> <p>「芸術・文化等に触れ、また活動できる環境」「生涯学習に取り組みやすい環境」「スポーツ、リクレーションに親しめる環境」</p> <p>もともと低い数値の「まちづくりへの住民参加機会」「市民活動が活発である」「まちに活気がない」「奥州市の魅力の発信」をしていないと答えた市民の多さ</p> <p>一方で自然が豊か、と感じている人は多く、新たな施設設備の充実のみでなく、各地区で行われている生涯学習活動のメニューの見直しや地域にいる人材の活用による新たな講座の開設等によって、(例、里山トレッキング、里山自然観察会、ヨガ、フレイル予防体操、食育講座、地域の歴史探訪小旅行(大人の修学旅行)、収穫体験、グリーンツーリズム体験…)奥州市に居ながらにして様々な体験ができることは、地域の魅力発見になるのではないだろうか。</p> <p>また、予防的な楽しめる運動の効果や、そこに関わることで常日頃からのコミュニティの育成も図られる。</p> <p>そして好きなこと、得意なことを地域で活かしてもらい、関わる人を増やしていき地域のことが自分ごとになっていく。そんな風に、課題を解決しながら、関わる人を増やしていければ、他人事のように、「まちに活気がない」という人は、少なくなっていくのではないだろうか。</p> <p>数値が下がったことや低い事柄をそのまま実態を把握するだけでなく、その部分に地域の力を借りたり、地域の人がかかわる機会をつくったりしながら数値だけでなく住んでいる人たちの「満足度」を上げていくことが今、求められているのではないだろうか。</p> <p>SDGs 17番目の目標のパートナーシップで 11番目の住み続けられるまちづくりと一緒に叶えていくことができるようアンケートを活かしてほしい。</p>	<p>市民にまちの魅力を積極的に発信することは大切であると考えており、市総合計画後期基本計画に「市内外に向けたシティプロモーション」という新たな考え方を取り入れ、計画策定を進めております。</p> <p>また、同じく新たな考え方として「SDGsの理念の具現化」も取り入れ、本市の実状に見合った持続可能なまちづくりを進めていくこととしております。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
合併検証の活用について	<p>よりよい地域をつくるべく、15年前に5つの市町村が合併し、これまでご努力を重ねて来られた皆様方にまずもって心より敬意を表すところであります。</p> <p>さて、奥州市合併検証資料を拝見いたしました。</p> <p>特段意見等はございませんが、これまで合併後の検証内容を定期的に市民の皆さんにも共有し、ご理解をいただく発信がもっとあるべきと考えますのでご検討いただければ幸いです。</p> <p>今後も引き続き奥州市発展にご尽力心よりお願い申し上げます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するためのものです。</p> <p>ご意見にいただきましたように、情報の発信と共有は非常に重要と考えております。</p> <p>今回の合併検証はもとより、市政全般について積極的、かつ効果的に情報発信を進めながら、引き続き住民ニーズの把握に努めるとともに、市政運営に活かしてまいります。</p>
検証に対する所感	<p>合併後の努力で達成できたもの、これからの課題がわかりやすいものになっていると思います。</p> <p>今後の課題について、財源が必要になるものが多くあると思います。</p> <p>市民の要望を聞くことは大事ですが、財政健全化のため”我慢をしてもらわないといけない”と言うことも訴えていいのではないかと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市の財政状況は、想定以上の収入の減少に加え、支出抑制が進まず、急激に悪化している状況です。</p> <p>市では、安定的かつ持続的な財政運営を図るため、事務事業経費の削減、補助金等の見直し、市有財産に売却や利活用の推進、公共施設の整理、使用料等の見直し、職員人件費の抑制など財政健全化に向けた取組を実施しております。</p> <p>これら取組に際しては、市民の皆さまのご理解とご協力をいただけるよう丁寧に説明を行い、進めているところです。</p> <p>引き続き、市財政の健全化に向け邁進していく必要があります。いただきましたご意見を参考としながら、官民一体となった取組として展開してまいりたいと考えております。</p>
検証のまとめについて	<p>「合併後に改善が図られた市民サービス」に挙げられている項目の多くが「改善を図るべきまちづくりの課題」と重複が見られる。市民の視点からは改善が図られていないということではないか。誰から見ての「改善か」。表現の再検討が必要と考える。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘いただきましたように、検証の結果をみると、合併後に改善が図られた市民サービスがある一方、アンケート結果には住民の実感としてそれがあまり反映されていないことも明らかになっていきます。</p> <p>市民の視点については、市民アンケートにおける各施策に対する評価や意見をもとに整理しているものですが、検証結果における市民が感じている課題として捉え、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画に反映し、今後の市政運営に活かしてまいります。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>PI30 対応と経過について</p>	<p>地域の担い手不足は就業構造の変化によるところが大きく、単純に人口の増減影響したものではないと考える。公共交通の衰退も生活環境（自動車の普及など）の変化によるもので、人が減ったからではなく、利用ニーズの減少で収支が合わなくなったからではないか。インフラの老朽化は経年によるもので、インフラ維持の費用対効果が低下するという表現であれば、理解できる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、担い手不足、地域公共交通等は、単に人口減少だけでなく、様々な要因により変化したり影響を受けているものです。 また、人口減少自体も、様々な要因が複雑に絡まって進行しています。 ここでは、人口減少による主な影響とそのための方針について記載をしておりましたが、ご意見をもとに次のとおり修正いたします。</p> <p>人口減少に社会構造や住民ニーズの変化など様々な要因が複雑に絡み合うことで、地域の担い手の不足や地域活動が停滞するなど地域の魅力や活力の低下につながるほか、公共交通の衰退やインフラの老朽化、空き家の増加等の市民生活の利便性の低下などを引き起こし、その結果さらに人口減少の加速につながっています。人口減少に歯止めをかけるため、子育て環境や医療、福祉など生活環境の改善、働く場所の確保等の各種施策を進めました。</p>
<p>PI32 施設利用の改善について</p>	<p>グラフからは施設利用の選択肢が増えたことが優位に働いたことが読み取れなかった。他地域を利用する割合の比較を合併前後で行っての表現か。合併前は各施設、市民、町民、村民限定での施設開放だったのだろうか。個人的な印象としては合併前も必要に応じて胆江地域内外の施設を各団体・個人で利用していたように思う。合併効果として挙げるのは適切か。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 合併前において、施設の利用料金を住民と住民以外で大幅な差を設定していたり、学校開放などは当該自治体住民のみの利用に限定していたなど、当該自治体住民を優先とした設定となっていました。 合併に伴い、前述の要件が緩和されたこと、施設の集約や利用対象の拡大により、施設利用における選択肢が増加したことから、効果として整理しています。 検証報告書の中では、具体的内容について整理していませんが、関連事項として、資料編の合併協定項目において、施設等財産の引継ぎ、学校開放の調整等について記載しています。</p>
<p>PI33 土地改良事業について</p>	<p>他のインフラ整備などの事業と異なり、基盤整備など産業関係への活用については、経済効果など見える形での具体検証が必要ではないか。現在の市の財政状況を見ると、「困ったら合併特例債」で突き進み、本当であれば実施を立ち止まって考えるべきだった事業はなかったのかの検証も必要ではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。 ご指摘いただきました事業実施に伴う経済効果などに係る検証については、市がこれまで実施してきた各種施策や事業について、行政評価を実施し、改善を図りながら、効率的かつ効果的な事業運営に努力しております。 また、財政状況を踏まえた事業展開については、今回の合併検証の結果も参考にしながら、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画において具体的な方針や施策を整理し、今後の市政運営に活かしてまいります。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
P133 まちの活気の表現について	<p>「まちに活気がない」はひどく抽象的に感じるが、アンケート作成者の意図としては商店街のにぎわいを想定した質問だったのか。商業振興は進めるべきで、若い世代を中心にやりたいことにチャレンジできる環境は大事だが、それが「商店街」とイコールかという疑問。もちろん活性化へ頑張っている商店街を支援するのは必要だろうが、質問自体が昭和の幻想から抜けきれないかつてのまちづくりに引っ張られた、誘導的なものを感じる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 市民アンケートの項目については、合併以降定点観測項目として調査している事項、アンケート実施時において把握が必要な事項（今回でいえばコロナ対応や合併検証）について調査しています。 ご指摘いただきました「まちに活気がない」の項目は、暮らしやすさについて定点観測している調査の選択肢であり、合併以降同じ表現としていたものです。 この項目は、商店街だけでなく、住んでいる地域、中心市街地も含めていたのですが、抽象的というご指摘はそのとおりであり、ご指摘いただいた内容をもとに、次回以降のアンケート調査実施に際して、設問、アンケートの用途について検討させていただきます。</p>
P137 コミュニティの表現について	<p>「コミュニティーの停滞」はコミュニティー活動の停滞？コミュニティーの縮小？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご意見をもとに次のとおり修正することといたします。</p> <p>人口は、合併時と比較して17,144人（13.2%）減少しています。特に中山間地域や山間地域における人口減少率が高くなっており、各地域におけるコミュニティの縮小が懸念されます。広い市域の多様なニーズをとらえるため、地域自治組織との協働によるまちづくりを一層進める必要があります。</p>
資料編 財政計画と決算額の比較について	<p>予算関係の乖離要因など分かりやすくまとめられていました。「増加傾向」などの比較は基本的に合併当初と比較するという受け止めでよろしいでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 収支各項目における差額は、平成18年度から令和2年度までの15年間の合計額の差額となっています。 ご覧になる方が分かりやすいよう、歳入及び歳出の説明冒頭に「（以降の増減比較においても同様）」と追記しました。</p>
合併に対する所感	<p>感想ですが、合併後に直接的に自分の生活に影響が出ているものがないため、合併してよかったかどうかという実感はありません。自分の周りの方に聞いてみても、やはり実感がないという話が多く聞かれます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するためのものです。 ご意見にいただきましたように、実感がない、情報が不足しているなど、さまざまな要因により、合併や市政そのものをご理解いただけていない状況があります。 市から積極的、かつ効果的に情報発信を進めながら、引き続き住民ニーズの把握に努めるとともに、市政運営に活かしていく必要があると考えております。 加えて、合併検証結果について、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料として、市民に広く活用されるよう、内容の周知に努めます。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>検証のまとめについて</p>	<p>合併の必要性として新市建設計画において5項目を掲げているが、最大かつ喫緊の課題は「急速に進む少子高齢化社会への対応」であったろう。即ち、年少人口やそれに続く生産年齢人口が減少して高齢化率が急激に高まり、単独の自治体としての運営が困難になってくることを見据え、合併による行財政の効率化を図り、生み出された資源や合併特例債などのインセンティブを活用して持続可能な自治体へと変貌を遂げていくプロセスとなるべきであった。</p> <p>そのため、奥州市として生活環境の改善や働く場所の確保などの施策を精力的に進めてきたが、未だ年少人口や生産年齢人口の減少に歯止めが掛かっている状況にある。18ページに掲載されている「図表11 15歳以上の就業者及び通学者の流出・流入先」では人口が減少しているにも関わらず就業者、通学者とも減少していない。このことは市内に魅力的な就業機会や教育機関が増加していないことの裏付けとなると考えられる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>合併時における方針については、ご指摘いただいたとおりであり、この間、合併の必要性として掲げた5つの項目（課題）を解決するため、各種施策を実施してきたものです。</p> <p>今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。</p> <p>いただいたご意見と今回の合併検証の結果をもとに、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画において具体的な方針や施策を整理し、今後の市政運営に活かしてまいります。</p> <p>加えて、合併検証結果について、未来への在り方を議論いただくための今後のまちづくりの基礎資料として、市民に広く活用されるよう、内容の周知に努めます。</p>
<p>検証のまとめについて</p>	<p>若者に魅力ある都市として存在するためには、市内中心部が充実していることが必要不可欠であるが、スプロール化に歯止めが掛からず、本来市の顔となるべき水沢駅前が13万都市としての顔となっていない。スプロール化された都市は住民の移動手段の非効率化を招き、結果として多様化する住民ニーズへの対応や広域的な行政需要への対応も非効率になってしまうだけでなく、市街地の不動産価格の下落を招き、市税収入の戦略的増加の推進も困難となってしまう。また、製造業とサービス業が融合した21世紀型の新産業も育つ環境としても不十分であり、全体として若者を引きつける場所とならない。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、人口減少や少子高齢化、若年層の流出が進んでおり、これらの状況は、地域コミュニティの縮小、地域活動停滞などにつながるものです。</p> <p>ご指摘いただきましたように、これからのまちづくりに若年層の存在は必要不可欠であり、また、まちの魅力や活気づくりは定住化に向けた重要な施策です。</p> <p>多くの市民、特に若者の主体的な参画によるまちづくりが進むような体制づくりを進めていく必要があり、現在策定を進めております市総合計画の中で新たな施策を含め、具体的方針を示す予定です。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
<p>検証の手法について</p>	<p>本報告書は、市役所事務方の総力を挙げて詳細にとりまとめた報告書となっており、それ自体には高く敬意を表する。しかし、もう一方で検証すべきは奥州市の今後のあり方を俯瞰した立場から検証することではないだろうか？その際には市の今後を支えていく若者が検証の中心になるべきであることはいうまでもないことである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の合併検証は、合併前又は合併時と現在を比較して、どのような変化があったか、あわせて合併後に改善が図られた市民サービスや課題を整理し、市総合計画への反映をはじめ今後の市政運営に活用するものです。 検証結果を踏まえ、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画において具体的な方針や施策を整理し、今後の市政運営に活かしてまいります。 ご指摘いただきましたように、今後のまちづくりを担う若者を中心にこれからの奥州市の展望を検討し、方向性を見出していくことは重要です。 市では、協働によるまちづくりを進めていくため、市総合計画、協働のまちづくり指針などを策定していますが、多くの市民、特に若者の主体的な参画によるまちづくりが進むような体制づくりを進めていく必要があると考えております。 市総合計画の策定に際し実施したワークショップ「TNGR（つながる）」、市の将来の発展に向け開催した「奥州市の将来を語る会」など、若者が参加し発言する機会を積極的に活用しながら、若者の意向を市政運営に活かしてまいります。</p>
<p>PI30 検証のまとめについて</p>	<p>改善が図られた点と市民アンケートの結果が矛盾しているように感じる。 行政として様々な費用負担の軽減を施策として実行してきたが、市民が求めていることは子育てしやすい環境の整備となっている。 行政として今後どのような施策に転換していくかが求められているのではないか。 今までの取組みだけでは不十分だということだと思ふ。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたように、検証の結果をみると、合併後に改善が図られた市民サービスがある一方、アンケート結果には住民の実感としてそれがあまり反映されていないことも明らかになっています。 市民の視点については、市民アンケートにおける各施策に対する評価や意見をもとに整理しているものですが、検証結果における市民が感じている課題として捉え、現在策定を進めております市総合計画後期基本計画、その他各部門別計画において具体的な方針や施策を整理し、今後の市政運営に活かしてまいります。</p>

指摘等箇所	意見等の内容	回答、対応等
PI31 医療体制について	<p>前述同様、奥州市の医療体制についても、市民が不安に感じていることを受け止め、適切なプロセスでの説明が必要だと思えます。まごころ病院では、研修医の先生も来られたり、行政、医療、福祉の連携拠点として先駆的医療機関であったものです。</p> <p>今後の丁寧な対応を求めます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市民アンケートにおいて、医療や保健機関の不足に対し、多くの市民が不満を感じている結果となっています。また、医療や保健サービスの充実に重点的に取り組んでほしいとの意見も多くありました。</p> <p>市の医療体制等については、「奥州金ケ崎地域医療介護計画」「奥州市立病院・診療所改革プラン」などにより検討していますが、ご指摘のとおり丁寧な説明と対応に努めてまいります。</p>
PI40 今後のまちづくりについて	<p>前述の内容も含め、記載されているとおりだと強く感じる。</p> <p>住民は何かあれば「行政任せ」な部分もあるし、それは今までの社会情勢上ではそれでもよかったのだと思う。しかし、今、住民同士の「助け合い」「共助」の部分押し出されても、対応できる力は住民にまだ備わっていないように感じる。</p> <p>そういった意味で、課題解決ができる住民、取りまとめる住民を育成していくことが必要であり、長期的に考えていかなければならないと思う。</p> <p>「奥州市に住みたい」「奥州市が好きだ」という人がもっと増えるような施策やまちづくりの検討が必要と思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり「協働」による自主自立のまちづくりを進めていくためには、行政だけでなく地域や住民の参画、連携が重要となります。</p> <p>なお、「検証の総括と今後のまちづくり」に記載しているように、「広く住民の意向を把握する仕組みづくり、同時に行政からの情報をいかに効果的に発信できるか、そして市政の推進への参画者、協力者をいかに増やせるか」を課題として捉えており、いただいたご意見をもとに、地域づくりの拠点の整備、団体や人材の育成、支援を強化し、市民が主体的にまちづくりに参画し、魅力ある地域づくりを進めるため、市総合計画の策定や市協働のまちづくり指針（令和3年3月改訂）に基づく各種施策の実施など、今後の市政運営に活かしてまいります。</p>